

事例 4

交流・居場所

～ 菜園づくりを通じた地域の活動 ～

【中区 わが町いきいきゼミナール（地区型※）】

【事例】「アメリカ坂ふぁ～む」（令和元年8月設立）

団体紹介

- ・団体名：アメリカ坂ふぁ～むの会
- ・活動者の受講年度：平成30年度、令和元年度（第2、3期生）
- ・メンバー数：10人
- ・活動実績：（令和2年度より毎月第3金曜日に定例会開催）
水やり・草取りなど日常管理作業は当番制
- ・活用制度：「3R夢（スリム）農園」に登録



菜園づくりの様子

活動内容

平成30年度から2か年にわたって開催された、中区の地域づくり大学校「わが町いきいきゼミナール」は、本牧和田地域ケアプラザの敷地を活用した「菜園活動」を通じて、地域のつながりを育もうと企画されました。

（地域住民が気軽に参加できる活動を検討していたケアプラザと中区役所が、本牧・根岸地区連合町内会の丹羽会長の協力を得て、「わが町いきいきゼミナール」が実現。）

「仲間とともに菜園活動をすることで、生きがいをもって元気に過ごしたい。」という思いを持った方が集まり、ゼミナールがスタート。地域活動の手法と農作業を学び、徐々に仲間づくりを進め、講座参加者により令和2年4月「アメリカ坂ふぁ～むの会」を立ち上げ自主的に活動を行っています。土と触れ合いたい人や野菜を育ててみたい人なら誰でも参加でき、農作業の様子をみて興味を持った人がグループに参加するなどメンバーも少しずつ増えています。また、ゼミナールの中で見学に訪れた近隣の農園とは情報交換をしたり、農機具を借りたりするなど、交流を図っています。

令和元年秋には、初めて収穫したジャガイモなどの野菜を提供し、地域ケアプラザの「男の料理教室」のメンバーにカレーなどを調理していただき、招待した児童養護施設の子どもたちと一緒に、みんなで食事をしながら交流を深めました。

「アメリカ坂ふぁ～む」の活動から地域に連携の輪が広がっています。

※区域全域を対象とした講座形式ではなく、地区連合町内会等の特定のエリアを対象に、その地区の課題解決の取組を通じて、連携する団体や参加者を広げ、担い手の育成につなげています。